

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	20227009	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	天然変性タンパク質の動的構造と機能制御機構の解明	研究代表者 (所属・職)	西村 善文（横浜市立大学・大学院生命ナノシステム科学研究科・教授）

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>天然変性タンパク質の研究は、従来のタンパク質化学の多くの手法が使えない領域であり、新たな方法論の構築が求められる。研究代表者らは、MS、溶液 NMR の緩和解析、固体 NMR の手法などを用いて、そのような困難を乗り越えようとしている。本期間中の成果としてテロメア DNA と TRF2 の一ドメインの NMR による解析、TFII E と TFII H との相互作用の解析などは高く評価できる。できるだけインパクトの高いジャーナルへの発表を求めるが、全体としては、着実に研究が進展していると評価できる。</p>	